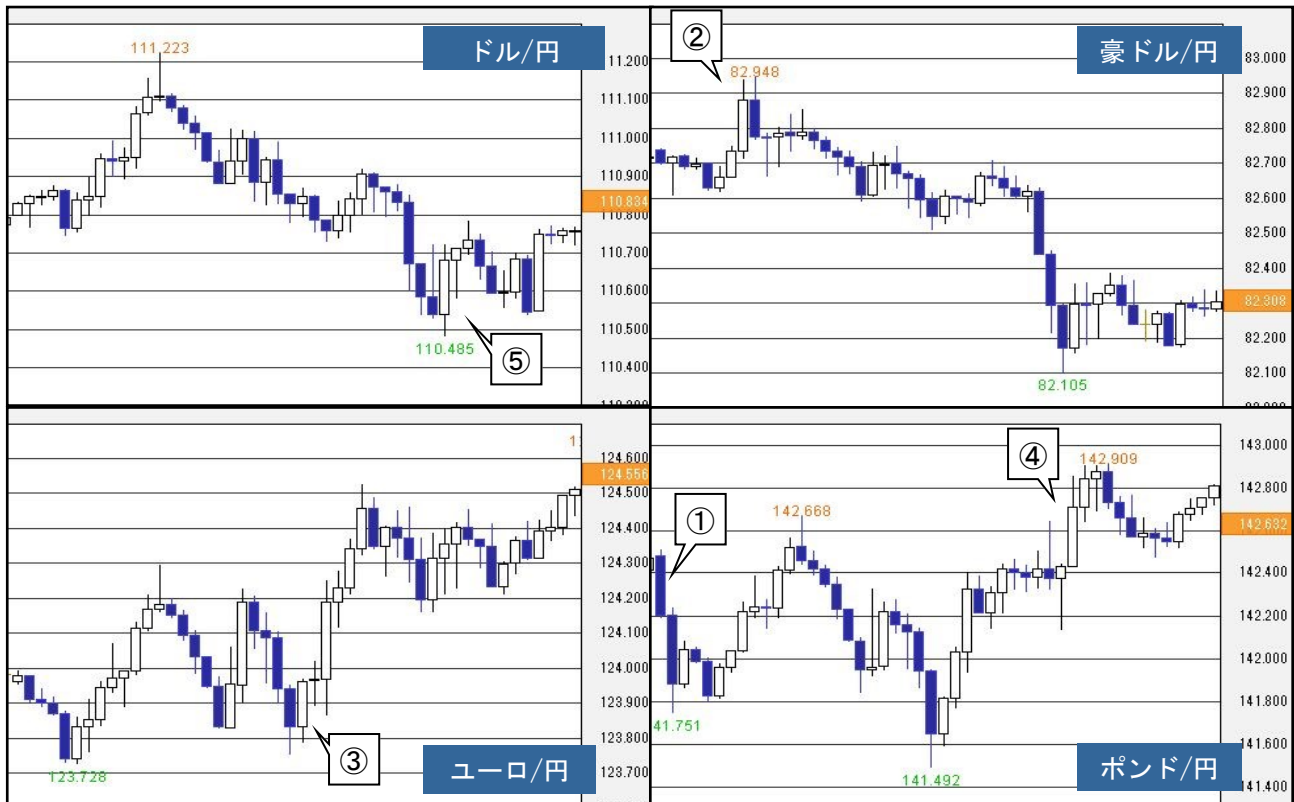


6月1日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、転換線重く続落余地

5月31日(水)の為替相場



期間：5月31日(水)午前6時10分～6月1日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 6月8日の英総選挙に絡む世論調査の結果から、メイ首相率いる保守党の議席が現状の330から310程度まで落ち込み、過半数(326)を切る可能性があるとして報じられた事を受けてポンド売りが強まった。
- ② 中国5月製造業PMIが51.2となり、4月から横ばいながらも市場予想(51.0)を上回ると、一時豪ドルに買いが入った。なお、中国5月非製造業PMIは54.5と、4月(54.0)から上昇した。
- ③ ユーロ圏4月失業率は市場予想(9.4%)を下回る9.3%に低下して2009年3月以来の水準に改善。一方、ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)・速報値は前年比+1.4%と市場予想(+1.5%)に届かず、4月の同+1.9%から大きく減速した。これらが直接的に影響する事はなかったが、欧州中銀(ECB)の早期緩和解除観測などを背景にユーロ/円は堅調に推移した。
- ④ 英総選挙の世論調査で「メイ首相率いる与党保守党の支持率は43%、労働党は33%」と伝わるとポンド買いが活発化した。なお、前日の別の世論調査では保守党のリードは5ポイントに縮まっていた。
- ⑤ 米5月シカゴPMIが55.2と、市場予想(57.0)を下回って前回(58.3)から大きく低下したのに続き、米4月中古住宅販売保留件数指数が前月比-1.3%と予想(+0.5%)に反して落ち込んだ。これらに加えて原油価格が続落した事で米長期金利が低下する中、ドル/円は一時110.50円を割り込んだ。ところが、米5月シカゴPMIが発表元により「59.4に上昇」に修正されると下げ幅を縮小した。

5月31日(水)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19650.57 (▼27.28)	5724.572 (△6.686)	3117.178 (△7.119)	7519.95 (▼6.56)	12615.06 (△16.38)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21008.65 (▼20.82)	0.0490% (△0.0060)	2.387% (▼0.004)	1.046% (△0.052)	0.304% (△0.012)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.2818% (▼0.0019)	2.2028% (▼0.0070)	48.32 (▼1.34)	1275.40 (△9.70)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.000-111.300	123.800-125.100	81.700-82.800	141.700-143.300

【ドル/円】

昨日のドル/円相場は111.20円台まで値を上げるも、日足の一目均衡表の転換線を前に失速。18日以来の安値となる110.40円台まで反落した。その後やや値を戻しているが、上値は限られそうだ。先週にローソク足が雲上抜けに失敗し、昨日は転換線が抵抗として機能している。こうした中、昨日安値(110.485円)を更新するようならば、雲下限(本日は110.059円)に向けた一段安もあるだろう。材料面では、明日の米5月雇用統計の前哨戦として、5月ADP全国雇用者数や5月ISM製造業景況指数に注目したい。

執筆者：川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/1(木)	10:30	◎	(豪) 4月小売売上高 (前月比)	-0.1%	+0.3%
	10:30	○	(豪) 1-3月期民間設備投資 (前期比)	-2.1%	+0.5%
	10:45	○	(中国) 5月財新/製造業PMI	50.3	50.1
	16:15		(ユーロ圏) ビルロワ仏中銀総裁、講演	—	—
	17:30	◎	(英) 5月製造業PMI	57.3	56.5
	21:00	○	(米) パウエルFRB理事、講演	—	—
	21:15	◎	(米) 5月ADP全国雇用者数	+17.7万人	+18.0万人
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	23.4万件	23.8万件
	23:00	◎	(米) 5月ISM製造業景況指数	54.8	54.7
	23:00		(米) 4月建設支出 (前月比)	-0.2%	+0.5%
	24:00		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。